SPECIAL

特集 さまざまな課題に対応するために

アクティブ・ラーニングで4技能を育てる
―USE Readをジグソー法で読み進める

山本崇雄（東京都立両国高等学校）

生徒がアクティブに主体的に学ぶために

次の学習指導要領の全面改訂では，アクティブ・ラーニング（以下 AL）* が改訂の主役になりそうである。AL は文字通り，生徒が主体的，能動的に学ぶことを指す。このような学習方法について学習指導要領で触れることはこれまでになかったことを考えると，一歩踏み込んだ画期的な改訂になりそうだ。本稿では，典型的な AL の手法であるジグソー法を使い，一足先に AL を授業に取り入れる方法を述べていきたい。

ジグソー法 **

ジグソー法はカリフォルニア大学サンタ・クルーズ校の名誉教授エリオット・アロンソンによって編み出された学習方法である。グループのメンバーがそれぞれ異なった情報を持ち寄り，ジグソーパズルのように組み合わせると全体像が見えてくるという仕掛けだ。

この手法を USE Read に用いてみよう。

Book 2 Lesson 3 USE Read を例に

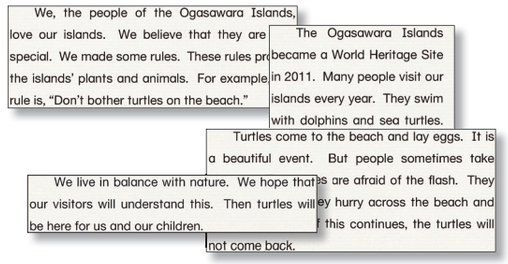
【レッスンのゴール】

「教科書の絵を使って，内容を英語で話す（書く）ことができる」

【準備】

・教科書本文をコピーし，段落ごとに 4 つのパートに切る。
・教科書の挿絵，写真を切り貼りしたワークシート①（Oral Presentation Sheet）を作成する。
・ワークシート①の裏面に，内容を書き取るワークシート②基礎・発展を作る。

〈4 つのパートに切った本文〉


We, the people of the Ogasawara Islands, love our islands. We believe that they are special. We made some rules. These rules pr the islands' plants and animals. For example rule is, "Don't bother turtles on the beach."

The Ogasawara Islands became a World Heritage Site in 2011. Many people visit our islands every year. They swim with dolphins and sea turtles.

Turtles come to the beach and lay eggs. It is a beautiful event. But people sometimes take s are afraid of the flash. They y hurry across the beach and f this continues, the turtles will not come back.

We live in balance with nature. We hope that our visitors will understand this. Then turtles will be here for us and our children.

〈ワークシート①　Oral Presentation Sheet（表面）〉

〈ワークシート②　基礎（裏面）〉

（　）に英語を入れよう。

1 段落　The Ogasawara Islands became a _____ in（　　）. _____ visit our islands（　　）year. They swim with（　　）and _____. They enjoy ...

2 段落　We, the people of ...

〈ワークシート②　発展（裏面）〉

要点をメモしよう。

1 段落

2 段落

【授業での手順】

（1）Guess Work（3 ～ 5 分）…考える

Oral Presentation Sheet（ワークシート①）の写真を見て，どんな話か想像させる。

①各自，写真の下にキーワードを記入する。
　※和英辞書を使わせてもよい。
②ペアまたはグループでキーワードをシェア。

対話例：What can you see in this picture?
― I can see a turtle in this picture?
What's the story about? ― I think this story is about the Ogasawara Islands.

（2）リスニング（3 分）…聞く

①USE Read の本文を聞き，キーワードを追加する。
②ペアまたはグループで情報をシェア。

（3）Read & Tell（ジグソー法）（10～15 分）…読む

教科書本文を 4 つに切ったものをそれぞれ教室の四隅に貼る（四隅に貼るので，4 corners とも呼ばれる）。隣の教室の理解が得られれば，廊下やバルコニーでもよい。次に 4 人グループを作り，それぞれが 1 つずつ貼られた情報を読みに行き，ワークシート②を完成する。ただし，ワークシートは机上に置いたままとし，読みに行く際にメモを取ってはいけない。また，何度読みに行ってもよいが，必ず暗記し，戻ってから書く。

ワークシート②基礎は，（　）には 1 語，__には複数の語を入れる穴埋め形式になっている。（　）や__は，読解のキーになる語句を中心に選ぶことで，読む際はそれらに集中することができる。このキーになる語句を何度も読み，意味を考え，書き写す作業が，後に全体を読むときの助けになる。

ワークシート②発展には要点のみを記入させる。限られた時間で，全ての英文を書き写すことは不可能なので，必然的に要点を要約することになる。

ポイント
・初めて読むので，発音のわからない語もあるが，想像させて発音させる（間違ってもよい雰囲気を作る）。
・意味がわからない語は積極的に辞書を引かせる。
・教師は巡回し，随時支援する。
・発展的な生徒には 2 つ以上読みに行くよう指示を出す。

（4）発音練習（5 分）…話す

新出語を中心にフラッシュカードを用いて，発音練習をする。（3）で誤って発音しているものを修正する。時間があればフラッシュカードの前に，全体をもう一度聞かせても効果的である（CD を聞き，発音の誤りに気づく能力を育てることができる）。

（5）発話練習（Oral Presentation）（10～15 分）

①教師と一緒に絵を指しながら，発話練習をする。
②ペアで，絵を指しながら，英語でストーリーを説明する。ペアをかえて複数回練習する。

後日，発表をさせれば，表現の能力（Speaking）の評価もすることができる。

1 時間の授業で行うことを想定し，時間配分の目安を記したが，生徒のレベルによって活動時間を調整したり，ワークシートを工夫したりすることができる。次の時間に，より細かい発音指導や文法指導をするとよい。まとめに，教科書の絵を使って英文を書かせたり，自分の感想や意見を書かせたりすると Writing の力も育てることができる。

AL は人間関係も育てる

ジグソー法を使うことにより，長い文章を分担し，読む量を減らすことで，苦手な生徒も取り組みやすくなる。また，しっかり読まないとグループのメンバーに伝えられないので，「誰かのために読む」というモチベーションになる。情報を仲間から得たときは必ず "Thank you." と言うよう促し，お互いの存在意義を高めさせるとよい。学校生活の中で「ありがとう」を言ったり，言われたりする場面は意外に少ない。授業の中で複数回ペアをかえ，何度もいろいろな人に感謝することが，クラスの人間関係を育てていく。英語の 4 技能を育てるだけでなく，大きなおまけもついてくるのが，AL の素晴らしい点である。

* アクティブ・ラーニング
教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり，学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって，認知的，倫理的，社会的能力，教養，知識，経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習，問題解決学習，体験学習，調査学習等が含まれるが，教室内でのグループ・ディスカッション，ディベート，グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。
文部科学省　中央教育審議会（2012）.『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて　用語集』.

** ジグソー法
Just as in a jigsaw puzzle, each piece — each student's part — is essential for the completion and full understanding of the final product.
Aronson."The Jigsaw Classroom"https://www.jigsaw.org/